平成２２年度　介護予防に関する調査研究事業計画書
（老人保健健康増進等事業分）

①　事　業　名	介護予防のケアマネジメントに関する調査研究事業
②　事業実施目的	活力ある高齢社会実現のためには軽度虚弱高齢者に対する予防的なケアマネジメントを行うことが重要となる。そこで本事業では地域包括支援センターで行っているケアマネジメントの質とその効果との関連について検証する。
③　事業実施計画	地域包括支援センターで行われているケアマネジメントの質評価のためのケアプランチェックリストを開発し、ケアマネジメントの質と予防効果の関連について実証的に検討を行う。あわせてケアプラン作成が必要な特定高齢者のスクリーニング手法についても検討する。 具体的には以下の2つの事業を行う。1）平成 20 年度に全国の地域包括支援センターでケアマネジメントを受けた虚弱高齢者（特定高齢者及び要支援1、2高齢者）のケアプランとその基本チェックリスト及び認定調査票における変化（20－21 年度）との関連を検証する。2）諸外国における要ケアマネジメント必要高齢者のスクリーニング手法（たとえばカナダの PRISMA-7）などを参考にわが国の状況にあった、特にケアプラン作成を必要する者のスクリーニング手法を開発し、その妥当性を地域包括支援センターのデータを用いて実証的に検証する。 ケアプラン及び認定調査票の収集を 7 月－8 月、ケアプラン評価を 9 月－10 月、分析及び中間報告書作成を 11 月-12 月に行った後担当部局と協議を行う。その結果を踏まえて平成 23 年 1 月-2 月に報告書を作成する。
④　事業実施予定期間	平成22年　7月　1日　から　平成23年3月31日　まで
⑤　事　業　内　容	地域包括支援センターで行われているケアマネジメントの質評価のためのケアプランチェックリストを開発し、ケアマネジメントの質と予防効果の関連について実証的に検討を行う。あわせてケアプラン作成が必要な特定高齢者のスクリーニング手法についても検討する。 具体的には以下の2つの事業を行う。1）平成20年度に全国の地域包括支援センターでケアマネジメントを受けた虚弱高齢者（特定高齢者及び要支援1、2高齢者）のケアプランとその基本チェックリスト及び認定調査票における変化（20－21年度）との関連を検証する。2）諸外国における要ケアマネジメント必要高齢者のスクリーニング手法（たとえばカナダのPRISMA-7）などを参考にわが国の状況にあった、特にケアプラン作成を必要する者のスクリーニング手法を開発し、その妥当性を地域包括支援センターのデータを用いて実証的に検証する。
⑥　事業の効果及び活用方法	本事業の成果として、地域包括支援センターにおけるケアマネジメントの有効性の検証及びその向上のための方法論の確立が可能である。その成果は平成24年度以降の地域包括支援センターの在り方を考えるための重要な資料となるものである。